

プログラム名：ラーニング・サポーター・プロジェクトにおける活動

責任者：大久保 牧子

共同者：橋本 真由美

▼事業の概要

この活動は、地域で子どもの学びを支える活動ピアカウンセリングサークル「ピアいぶ」の活動支援を行うものである。具体的には、ピア（仲間）と心を通わせながら、活動の基本となる「共有・共感」スキルの向上と、活動の環境調整を図ることを目的とした。



▼事業の内容

【ラーニング・サポーター・プロジェクト】

2019年度から滝沢市とラーニング・サポーター・プロジェクトの契約を結んでいる。学習支援者（ラーニング・サポーター）として、滝沢第二小学校、滝沢東小学校、滝沢第二中学校において、「個人差に応じた学習支援（個別の支援、少人数学習の支援）」や「学習教材の準備、児童の活動の安全指導の補助」「業間活動における児童への安全な遊び方指導」などを行い、子どもたちの学びや活動を支える活動を実施した。



【ピアヘルパー講座】

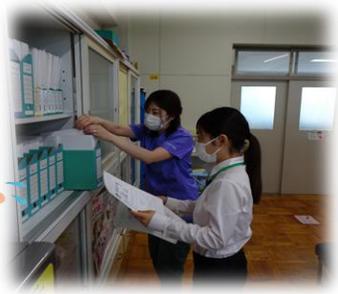
中学生や高校生が悩みを打ち明けやすいのは、同世代の友だちである。「ピアいぶ」は、県内各地の中学校・高校で思春期保健授業のピアヘルパーとして活動をするサークルである。また、ラーニングサポート事業は、教員志望の学生が、学力不振及び不登校等、学校不適応児童生徒に対する学習相談、学習支援を行う活動である。

以上のことから、児童生徒との信頼関係が構築できるコミュニケーションスキルを持って、活動に臨むことが求められる。

そこで、ピアヘルパーについての知識を持ち、ピアヘルパーとしてのコミュニケーションスキルを高めることを目的に行った。

内 容：

- ①構成的グループエンカウンター
- ②講義「カウンセリングの理論」
- ③講義と演習1「カウンセリングスキル」
- ④講義と演習2「ピア活動の体験」



▼事業の成果（結論・考察）

子どもたちとのコミュニケーションの取り方に不安感があった学生にとって、ピアヘルパー講座は良い学びの場となった。

ラーニング・サポーター活動に参加した学生からは、大学の授業では学べない教育現場の実際を知り体験する機会となった。また、子どもの学習や活動をサポートするボランティア活動を通して、子どもの発達段階や心理状態の理解につなげ、教職員の多様な仕事についての理解を深めることができた。

▼おわりに

子どもの学習や活動をサポートするボランティア活動を通して、子どもの発達段階や心理状態の理解につなげ、教職員の多様な仕事についての理解を深めることができた。

今後も、滝沢市の担当者と相談しながら、市内小中学校のニーズに応じた活動展開できるよう検討していきたい。